



東京都中学校理科教育研究会

平成 23 年 6 月 23 日

## 会長だより 6月

会長 立澤 比呂志

5月に行われました都中理総会で、高嶋勇二前会長から都中理会長という重責を引き継ぎました。今回の会長職は、平成25年度に実施される全中理東京大会の運営委員長も兼ねるということで、更なる重責に身が引き締まる思いです。

全中理東京大会を、都中理組織とその活動の更なる活性化に役立てるとともに、東京の理科教育の充実、レベルアップにも大いに役立てたいと考えています。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

### ○ 都中理組織および活動に関して

#### (1) 3部、5委員会の組織づくりと組織としての活動の充実

部長、副部長、委員長、副委員長だけで活動するのではなく、各区市町村から選出される部員、委員を定期的に招集し（部会、委員会）、組織として活動できるようにする。そのためには、各地区の部員、委員へ確実に部会、委員会の連絡を行う。また、各区市町村から選出される部員、委員だけでなく、その他のやる気のある人材にも積極的に声をかけて集め、組織の充実を図る必要がある。さらに、各部、委員会はビジョンのある年間活動計画を設定し、確実に実行する。

#### (2) 5委員会の活動に関して

5つの委員会は平成25年度の全中理東京大会に向けた研究活動を始める。5つの委員会から全中理東京大会の5分科会の発表者をそれぞれ選出する。

委員会として、今後2年間（実質は1年程度しかない）研究を進め、その集大成として成果を発表する。1人の発表者を決め、その個人に全てを任せてしまうのではなく、委員会として、各地区の理科部会等と連携を図りながら、組織として研究を進め、全国へ提言できるような内容とする。したがって、今年度からの活動はその路線上の活動となる。そうすることによって、東京都全体の理科教育ネットワークを構築するとともに、東京の理科教育全体のレベルアップを図る。また、全国大会を実施することが、その地区の理科教育研究会の組織力構築と理科教育のレベルアップを図るためにも大いに役立つことを実証する。

#### (3) 都中理役員会・代表理事会に関して

都中理役員会・代表理事会の活性化を図るために、3部、5委員会は、活動の経過を毎回報告する。各部・委員会から必ず報告者が出席できるようにする。

全中理東京大会の基本となる内容は、この会で検討する。

#### (4) 各地区理科部との連携

各地区理科部の活動を都中理研修会と連携させて、効率的かつ多様な研修を実施する。

#### (5) 都中理会員名簿の発行

都中理会員名簿が発行されなくなってからかなりの年数が経つ。全中理東京大会を全都の総力で実施するためにも、都中理会員全員の名簿を今年度中に発行したい。